

環境技術特集によせて

パナソニック（株）エコソリューションズ社 常務
パナソニック エコシステムズ（株） 社長 吉村 元



地球温暖化、資源枯渇、生態系の危機などの環境問題が地球規模での大きな課題となっていますが、パナソニックグループは、創業100周年ビジョンであるエレクトロニクスNo.1の「環境革新企業」を目指し、すべての事業活動の基軸に「環境」を置いて、お客様の心豊かなグリーンライフスタイルを実現する「グリーンライフイノベーション」と、事業活動における究極のグリーン・ビジネススタイルを実践する「グリーンビジネスイノベーション」に取り組んでいます。

エコソリューションズ社では、「住宅」・「ビル」・「街」や「工場」などを対象に、照明、情報機器、電設資材、住宅設備・建材に加え、太陽光発電・蓄電設備などのエネルギー関連機器や空調・換気設備、食品システムなどの商品・サービスをグローバルにご提供しています。また、当社の幅広い商品群を活用し、さまざまな機器を電気と情報でつないでコントロールすることで、お客様に最適なソリューション、すなわち「そろえる価値、つなげる価値、バリューチェーン」をご提案し、世界中の人々が環境負荷を軽減しながらも快適に暮らせる空間を実現する「快適とエコの両立」を追求しています。

さらに、モノづくりプロセスにおいても環境に配慮し、CO₂排出量削減、資源循環の促進、水使用量の削減、化学物質管理の強化、さらに生物多様性の配慮などに取り組んでいます。工場の建物、電気・水・エアーの原動設備、生産設備全般に、当社の省エネノウハウと環境負荷低減技術を導入し、世界トップレベルの省エネ・ゼロエミッション工場の実現を目指しています。

一方、環境問題は新たな規制や環境基準の強化に対応するだけでなく、省エネ・省資源も両立した新しい環境技術が求められています。例えば揮発性有機化合物（VOC）排出の規制が強化されることで、工場などから排出されるVOCを除去する設備の導入が必要になります。しかしながら、単なる除去設備ではなく、回収・リサイクル技術および熱回収などの省エネ技術を複合的に組み合わせることにより、規制に対応することはもちろ

んですが、生産に必要な資源、エネルギーやCO₂排出量などを同時に削減することが可能です。このような単に有害物質排出の防止だけでなく、環境負荷を低減しながら効率的な生産とコスト削減を実現できる新しい環境技術の創出が今後ますます重要になってきます。

パナソニック エコシステムズ（株）では、工場で使用する水やエネルギーの削減、工場が排出する空気の浄化など、環境負荷削減の取り組みを長年にわたって行っており、その実績や蓄積したノウハウとともに、空気・水・土壌の高い浄化技術力を生かした環境ビジネスを展開しています。

空気の浄化分野では工場から排出される各種排ガスやVOCなどを除去・回収する設備など、水の浄化分野では、超純水製造設備、排水処理設備、薬液供給・リサイクルなど、土壌の浄化分野では、VOCなどで汚染された土壌・地下水を微生物で浄化するバイオレメディエーションなど工場での生産環境を護るための環境技術をご提供しています。さらにエネルギー分野においても、太陽光発電・蓄電設備の活用や生産設備と原動設備との連携制御による省エネ化など、工場まるごとの創・蓄・省エネソリューションをご提案しています。

空気・水・土壌浄化とエネルギーの環境技術を進化させ、また各分野を有機的につないで連携した工場まるごとのソリューションをご提供することで、環境負荷が低くしかも競争力のある生産環境を構築するとともに、今後も省エネ・ゼロエミッション工場の実現に貢献して参ります。

今回の特集では、環境負荷を大きく削減する空気・水・土壌の浄化技術、CO₂排出量を大幅に低減する高効率ヒートポンプ技術やバイオマス由来素材の活用などの環境技術の一端についてご紹介致します。

本特集をご高覧いただき、パナソニックグループの環境技術に対してご理解を深めていただくとともに、読者の皆様の研究開発活動や環境活動の推進にお役に立つことができれば幸いです。